

第62回四国地区高等専門学校体育大会要項

担当校 新居浜工業高等専門学校

第62回四国地区高等専門学校体育大会要項

1 主催

香川高等専門学校詫間キャンパス	阿南工業高等専門学校
弓削商船高等専門学校	香川高等専門学校高松キャンパス
高知工業高等専門学校	新居浜工業高等専門学校

2 共催

四国地区高等専門学校体育協議会、西条市陸上競技協会

3 後援

香川県、香川県教育委員会、(公財)香川県スポーツ協会、高松市、高松市教育委員会、(公財)高松市スポーツ協会、三豊市、三豊市教育委員会、三豊市スポーツ協会、NHK 高松放送局、四国新聞社
徳島県、徳島県教育委員会、(公財)徳島県スポーツ協会、徳島市、徳島市教育委員会、(一財)徳島市スポーツ協会、鳴門市、鳴門市教育委員会、鳴門市スポーツ協会、NHK 徳島放送局、(一社)徳島新聞社、四国放送(株)
高知県、高知県教育委員会、(公財)高知県スポーツ協会、高知市、高知市教育委員会、NHK 高知放送局、高知新聞社・RKC 高知放送、KUTV テレビ高知、KSS さんさんテレビ、エフエム高知
愛媛県、愛媛県教育委員会、(公財)愛媛県スポーツ協会、松山市、松山市教育委員会、(公財)松山市文化・スポーツ振興財団、今治市、今治市教育委員会、今治市スポーツ協会、上島町、上島町教育委員会、上島町スポーツ協会、新居浜市、新居浜市教育委員会、新居浜市スポーツ協会、西条市、西条市教育委員会、西条市スポーツ協会、NHK 松山放送局、南海放送、愛媛朝日テレビ、テレビ愛媛、あいテレビ、ハートネットワーク、愛媛新聞社

4 担当校

新居浜工業高等専門学校 電話 0897-37-7831

5 開催校

香川高等専門学校詫間キャンパス	阿南工業高等専門学校
弓削商船高等専門学校	香川高等専門学校高松キャンパス
高知工業高等専門学校	新居浜工業高等専門学校

6 大会期日

令和7年6月20日(金)～22日(日) [硬式野球の予備日として 6月23日(月)]
6月27日(金)～29日(日)
7月 4日(金)～ 6日(日)
7月12日(土)～13日(日)
7月18日(金)～20日(日)

7 競技種目・競技開催日・開催校・競技会場

競技種目		競技開催日	開催校	競技会場
陸上		7月12日(土)・13日(日)	新居浜高専	西条市ひうち陸上競技場
バレーボール	男子	7月5日(土)・6日(日)	阿南高専	とくぎんトモニアリーナ
	女子			
ソフトテニス	男子	7月12日(土)・13日(日)	高知高専	高知市東部総合運動場テニスコート [雨天の場合] 高知工業高等専門学校 第1・2体育館
	女子			
卓球	男子	7月18日(金)・19日(土) ・20日(日)	弓削商船高専	今治市営中央体育館
	女子			
サッカー		6月20日(金)・21日(土) ・22日(日)	高知高専	土佐西南大規模公園多目的広場
バスケットボール	男子	7月19日(土)・20日(日)	香川高専 詫間	三豊市総合体育館
	女子			
柔道		6月28日(土)	香川高専 高松	香川高等専門学校高松キャンパス 武道場
剣道	男子	7月5日(土)・6日(日)	新居浜高専	愛媛県武道館
	女子			
硬式野球		6月20日(金)・21日(土) ・22日(日)・予備日6月23日(月)	弓削商船高専	新居浜市営野球場
水泳		7月5日(土)・6日(日)	阿南高専	むつみスイミング(徳島県蔵本公園プール)
テニス		6月27日(金)・28日(土) ・29日(日)	香川高専 高松	香川県総合運動公園テニスコート
バドミントン	男子	7月19日(土)・20日(日)	香川高専 高松	高松市牟礼総合体育館
	女子			
ハンドボール		7月6日(日)	高知高専	高知市立東部総合運動場多目的ドーム

8 参加人数

競技種目		監督	コーチ	マネージャー	男子選手	女子選手	計	備考
陸上		1	1	1	34		37	
バレーボール	男子	1	1	1	14		17	
	女子	1	1	1		14	17	
ソフトテニス		1	1	1	12	6	21	
卓球	男子	1	1	1	10		13	
	女子	1	1	1		10	13	
サッカー		1	1	1	20		24	記録員 1 名含む
バスケットボール	男子	1	1	1	15		19	アシスタントコーチ 1 名含む 監督とは引率責任者を指す
	女子	1	1	1		15	19	
柔道		1	1	1	11	4	18	
剣道	男子	1	1	1	10		13	
	女子	1	1	1		5	8	
硬式野球		1		1	18		21	部長 1 名含む
水泳		1	1	1	24		27	
テニス		1	1	1	10	6	19	
バドミントン	男子	1	1	1	12		15	
	女子	1	1	1		12	15	
ハンドボール		1	1	1	16		20	チーム役員 1 名含

9 開会式・閉会式

- (1) 総合の開会式及び閉会式は実施しない。
- (2) 種目別開会式及び閉会式については、各競技種目別実施要項による。

10 参加資格

四国地区高等専門学校体育協議会加入の高等専門学校の学生とする。

11 参加申込

各競技種目別実施要項による。

12 競技方法

- (1) 種目別学校対抗競技とする。

- (2) 競技種目別実施要項による。
- (3) 荒天や突発的事故等への対応について
 - ア 開催地に気象による警報(大雨、洪水、暴風)が発令された場合、開催校校長は、原則として、競技を中止する。
 - イ 正常な大会運営ができない場合、事前に協議した各種目による申合せに基づき、その対応を該当種目の競技専門部で審議し、最終決定を開催校校長が行う。
 - ウ 競技が行われなかった種目の成績は、事前に協議した各種目による申合せに基づき、該当種目の競技専門部で審議し、最終決定を開催校校長が行う。
- (4) 近年の異常気象を考慮し、各種目において暑熱対策を講じる。
- (5) その他、競技運営上問題が生じたときは、該当種目の専門部長が専門部委員及び審判長を招集し審議し、最終決定を開催校校長が行う。

13 競技の組合せ

各競技種目別実施要項による。

14 表彰

(1) 総合表彰

- ア 総合優勝校に、表彰状及び優勝旗を授与する。
- イ 準優勝校に、表彰状及び準優勝トロフィーを授与する。
- ウ 優勝旗及び準優勝トロフィーは、持回りとする。
- エ 返還は、四国地区高等専門学校体育大会陸上競技の開会式で行う。
- オ 表彰は、四国地区高等専門学校総合文化祭において行う。

(2) 団体表彰

- ア 優勝チームに、表彰状、優勝杯及びメダルを授与する。
(メダルについては、陸上競技及び水泳を除く。)
- イ 準優勝チームに、表彰状を授与する。
- ウ 優勝杯は、持回りとする。

(3) 個人表彰

各競技種目の個人戦の 1 位に、表彰状及びメダルを、2・3 位に、表彰状を授与する。

15 総合順位の決定方法

- (1) 競技種目(7 競技種目に記載された団体種目で参加校が4校以上の種目)の得点合計の順位によって総合順位を決定する。
- (2) 各競技種目の得点は、競技参加校が6校の場合は、1位 6点、2位 5点、3位 4点、4位 3点、5位 2点、6位 1点とし、参加校が5校以下の場合には、参加校数に応じて各順位得点を減じる。
引き分け又は雨天等のため順位決定戦が行われなかった場合は、順位得点の合計を等分する。
- (3) 総合得点が同点の場合は、競技種目の上位入賞種目数の多寡による。
- (4) 雨天等のために中止となった種目については、得点の対象から除外する。

16 全国大会出場資格

本大会における成績により、地区代表として推薦され、かつ、学校長の出場証明書及び健康診断証明のある者とする。

なお、地区代表として推薦する者は、次のとおりとする。

- (1) 陸上競技は、各種目上位 3 名、リレーは 2 チーム、女子は各種目 2 名以内
- (2) バレーボール男子、バレーボール女子、ソフトテニス、卓球男子、卓球女子、サッカー、バスケットボール男子、バスケットボール女子、柔道、剣道男子、剣道女子、硬式野球、テニス男子、バドミントン男子、バドミントン女子、ハンドボールの団体競技戦にそれぞれ優勝したチーム。ただし、卓球男子、バスケットボール男子及び剣道男子は準優勝したチームも出場。
- (3) ラグビーフットボールは、中四国地区(第2)代表決定戦を行い決定する。
- (4) ソフトテニスの個人戦は、男子上位 3 組、女子は上位 2 組以内
- (5) 卓球の個人戦は、男子はシングルス上位 2 名、ダブルス上位 2 組、女子はシングルス上位 2 名以内、ダブルス上位 2 組以内
- (6) 柔道の個人戦は、男子は各階級(66 kg級、73 kg級、81 kg級、無差別級)それぞれ上位 2 名、女子は各階級(52 kg級、57 kg級、63kg 級、無差別級)それぞれ上位 3 名以内
- (7) 剣道の個人戦は、男子上位 4 名、女子は上位 3 名以内
- (8) テニス男子の個人戦は、シングルス上位 2 名、ダブルス上位 2 組、テニス女子の個人戦は、シングルス上位 2 名以内、ダブルス上位 2 組以内
- (9) バドミントン男子の個人戦は、シングルス上位 2 名、ダブルス上位 2 組、バドミントン女子の個人戦は、シングルス上位 2 名以内、ダブルス上位 2 組以内
- (10) 水泳は、男子は各種目上位 3 名、リレーは 2 チーム、女子は各種目上位 2 名以内、リレーは 2 チーム以内
- (11) 地区代表として 1 名も推薦されない学校については、その学校の最も優れた個人競技のいずれかの 1 種目(陸上競技 1 名、ソフトテニス 1 組、卓球シングルス 1 名又はダブルス 1 組、柔道 1 名、剣道 1 名、テニスシングルス 1 名又はダブルス 1 組、バドミントンシングルス 1 名又はダブルス 1 組、水泳 1 名)の選手を該当校が選考して出場させることができる。
- (12) 令和7年度テニス女子の団体競技戦は、地区専門部協議の上、チームを構成し、全国大会に出場させることができる。

17 代表者会議

各競技種目別実施要項による。

18 選手の変更

参加申込後の選手の変更は原則として認めない。ただし、特別の理由があるときは、代表者会議で認めることがある。(変更願は、開催校所定の様式による。)

19 大会分担金

分担金は、徴収しない。必要な経費は開催校が負担する。

20 その他

- (1) 競技中の選手の負傷については、開催校側が応急処置を施すが、その後の責任は負わない。
- (2) 選手の不測の事故に備えて、健康保険証を必ず持参すること。
- (3) 大会出場者で、ホームページ、報道等に、個人名を公表して欲しくない者は、学校を通して申込時に開催校学生担当課まで申出ること。